

事務系総合職募集案内



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization
北海道東北グループ

あなたの力が未来の医療へ



全国最大規模の病院グループ・国立病院機構で、日々の医療を支えることが事務部門のミッションです

国立病院機構（NHO）の概要

国立病院機構の概要

国立病院機構は平成16年4月1日、厚生労働省が運営していた国立病院・国立療養所が独立行政法人化して誕生しました。「医療の提供」「臨床研究の推進」「医療従事者の育成」の3つを使命とし、全国140病院を一つの組織として運営する我が国最大規模の医療グループです。私たちは国民の皆さまから信頼される医療の提供を目指して、医療サービスの向上を図るとともに、地域の医療に貢献し効率的な病院運営の実現に取り組んでいます。

事業内容

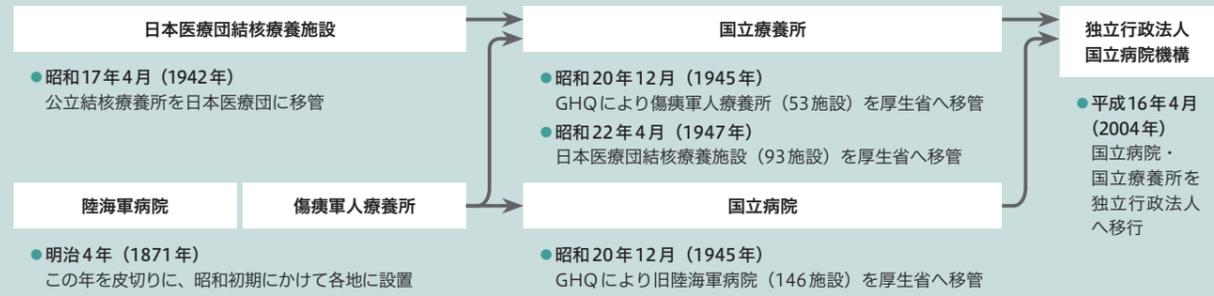
- 診療** 患者さんの目線に立った医療、質の高い医療の提供、安心・安全な医療の提供
- 臨床研究** 治験の推進、研究倫理の確立、高度・先進医療技術の臨床導入の推進
- 教育研修** 質の高い医療従事者の育成、地域医療に貢献する研修事業の実践
- 災害時における活動** 災害医療に対する迅速な対応（東日本大震災、北海道胆振東部地震、新型コロナウイルス対応など）



基本情報 ※令和7年4月1日現在

- 名称** 独立行政法人国立病院機構
- 設立** 平成16年4月1日
- 根拠法律** 独立行政法人国立病院機構法(平成14年法律第191号)
- 病院数** 140病院(令和8年6月以降139病院)
- 病床数** 48,073床
- 職員数** 約64,000人

国立病院機構の沿革



DMAT、医療班(新興感染症/災害時医療)について

大規模災害発生時の多様な状況に対応するため、平時から積極的に研修を実施し、必要な知識や技術の習得に努めています。

災害が発生した場合、災害拠点病院に常時配置されている「初動医療班」を先遣隊として送ります。初動医療班は発災後48時間以内に被災地へ派遣され、情報収集をしつつ避難所等の医療救護活動を開始します。初動医療班に続いて、全病院に配置している「医療班」を派遣し、被災地の避難所等で継続的な医療活動等を行っています。また、国の災害救助活動への参加としてDMAT(災害派遣医療チーム)やDPAT(災害派遣精神医療チーム)の活動に参加しています。



災害医療研修の風景

新興感染症への取り組み

- 感染症医療体制の強化
 - ・ 感染症指定医療機関の整備：感染症病床の確保や設備の充実を進め、重症患者の受け入れ体制を強化
 - ・ PCR検査体制の整備：院内での検査能力を高め、迅速な診断と対応を可能に
- 専門人材の育成と配置
 - ・ 感染管理専門看護師(ICN)などの育成：院内感染対策の専門人材を確保
 - ・ 医療従事者の重点配置・派遣：感染拡大時には病院間で人材を柔軟に派遣

事務部門の役割、事務部門の業務内容

事務部門の役割

事務部門の主な役割は、医療の質の向上や効率的で安定的な経営を目的とした病院の運営・管理です。医療業界の動きを敏感に捉え、病院内外における様々な課題を発見し、解決に向け具体的な提案を行い、データを的確に分析することで、質を落とさずに効率化や改善できる点を見出し、病院を最も有益な方向へ導きます。

医療チーム

病院は患者さんを中心として、医師、看護師、薬剤師などの様々な医療のスペシャリストで構成された医療チームを形成し、それぞれが必要な役割や機能を分担して医療の提供を行っています。事務部門も医療チームの一員として、病院の管理運営の中心となり、安心して安全な医療の提供を支えています。



事務部門の業務内容

企画課 (経理部門) ACCOUNTING

企業会計制度に基づいた透明性の高い会計処理

医薬品や医療材料の購入、業務委託や病棟の建替工事などの契約に関する業務、各種財務諸表の作成や病院の債権債務の管理を行います。企業会計制度に基づいた透明性の高い会計処理を目指しています。

企画課 (医事部門) MEDICAL AFFAIRS

病院の収益増を担う中心部門

病院の最も大きな収入源である診療報酬の管理に関する業務を行います。入退院や外来患者の受付、診療費の計算や請求、診療報酬に関する分析や地域の医療機関との連携など、病院の収益増を図る中心的な部門です。

経営企画室 CORPORATE PLANNING

病院運営を戦略的に推進する牽引役

病院経営を総合的にマネジメントするために経営に関するデータを集計・分析し、病院の運営方針や経営戦略などの意思決定を行うための情報発信や企画立案を行います。病院の運営を戦略的に推進するための牽引役となる部門です。

管理課 MANAGEMENT

病院で働く職員を支える多様な人材をどう活かすか

職員の人事・給与に関することや研修の実施、労務問題等を取り扱います。病院では医師や看護師など様々な職種が集まって医療チームとして協働しており、すべての職員にとって働きやすい環境を提供できるよう努めています。また、院内の連絡・調整役も担います。

事務部門	職員班	職員係 ・ 職員の兼業、勤務時間、休日及び休暇に関する業務 ・ 職員の研修に関する業務	厚生係 ・ 職員の福利厚生及び災害補償に関する業務 ・ 職員の健康管理及び安全管理に関する業務
	庶務班	庶務係 ・ 院内の連絡調整、会議及び諸行事に関する業務 ・ 文書の收受、発送及び保存に関する業務	給与係 ・ 職員の給与支給等の手続きに関する業務 ・ 職員の任免、服務の手続きに関する業務
	経営企画室	経営企画係 ・ 年度計画の策定に関する業務 ・ 年度計画のフォローアップに関する業務	業績評価係 ・ 年度計画の業績評価の作成に関する業務 ・ 財務書類等の点検及び分析に関する業務
	企画課	契約係 ・ 工事、物品及び役務等の契約 ・ 固定資産の管理	財務管理係 ・ 現金・預金の出納、記録及び管理 ・ 債権、債務の管理
	業務班	算定・病歴係	経理係 ・ 予算の作成及び執行に関する業務 ・ 財務書類などの作成、保管
		入院係	外来係 ・ 診療費の請求に関する業務 ・ 診療録の保管管理に関する業務 ・ 医療関係法令等に基づく手続き及び報告に関する業務
			医事係



先輩職員、中途採用者の日々業務、ホンネ等



令和4年入職

北海道東北グループ 運営指導係

現在の業務の魅力ややりがいを教えてください。

現在の業務では病院運営の分析を行うことがあります。各病院の実態を把握し、分析することで、自分自身も経営に関わっている自覚が芽生え、それをやりがいに当事者意識をもって業務に取り組んでいます。

入職後に身についたスキルや知識

管理課での業務を通じて、患者さんからの電話対応や病院職員への規則説明を行う中で、わかりやすく伝えるための説明力を身につけることができました。

どんな人に向いている職場か？

私たちの職場では、事務職員だけでなく、他の職種の方と話す機会が多いため、コミュニケーションが円滑にできる方、急な依頼等もあるため、柔軟性のある方が向いていると思います。

国立病院機構を目指す学生へ向けたメッセージをお願いします。

専門的な職種が多く在職しており、その中でも事務職は組織を支える重要な役割を担っていると感じます。他の組織の事務職では経験することのできない環境ですのでぜひ一緒に働きましょう。



令和5年入職

米沢病院 給与係

現在の業務の魅力ややりがいを教えてください。

現在、給与係を担当しています。職員の生活基盤を支える重要な役割であるとともに、正確な処理と丁寧な対応が求められます。常に緊張感をもって業務を行っています。

国立病院機構へ入職を決めた「決め手」、「要因」を教えてください。

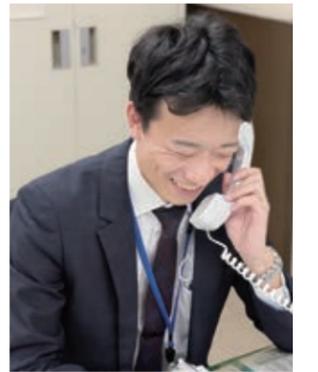
公共性と安定性のある環境で働いてみたいと思い、国立病院機構を選択しました。他職種との関わりや幅広い業務に触れ、自分の成長を実感できることに魅力を感じたことも、入職の決め手です。

就職前に不安だったことは？

どの部署に配属されるのか、今まで学校で学んできた事を役立てられるのか、人間関係に馴染めるか、新しい土地で暮らしていけるか、といった点が不安でした。全てクリアできています。

国立病院機構を目指す学生へ向けたメッセージをお願いします。

事務の仕事は表に出ない部分が多いですが、病院を運営していく中で欠かせない存在というのが、自分や上司の仕事を見ていて分かってきました。地道な努力は必ず実を結びます。頑張ってください。



令和5年入職

帯広病院 財務管理係

現在の業務の魅力ややりがいを教えてください。

病院という大きな組織のお金の動きがみられるところです。病院の運営資金等を管理するため、責任を伴う業務もありますが、その分やりがいも感じます。

入職前と入職後でイメージが変わったことがあれば教えてください。

想像していたより多くの人と関わることです。事務職なので、事務室で机に向かって黙々と作業をするのかと思っていましたが、病院で働くすべての人と関わるため驚きました。

この職場の良いところ（設備・教育体制・人間関係など）

休暇を取得しやすいため、プライベートを充実させることができます。係によって忙しい時期は異なりますが、月に一回は休暇を取得し、趣味の旅行を楽しんでいます。

国立病院機構を目指す学生へ向けたメッセージをお願いします。

私も入職前は医療の知識もなく不安を感じていましたが、周りの支えもあり問題なく働いています。また、福利厚生も充実しているため、プライベートも大切にできます。ぜひ、一緒に働きましょう！



中途採用者

函館医療センター 契約係

前職と転職のきっかけについて教えてください。

一般企業に9年務めてました。2024年8月からNHOで勤務しています。コロナ禍で働く医療従事者の方々の姿に感銘を受け、自分も地域医療に貢献し、住民の皆様の支えになりたいと思った事が転職のきっかけです。

国立病院機構へ入職を決めた「決め手」、「要因」を教えてください。

1番の要因は医療職の方や地域住民に貢献できる点です。また、NHOは公務員に準じた職場であるため福利厚生の制度が充実しており、制度利用も活発だと採用面接時に教えてもらったことも入職の決め手でした。

現在の仕事とやりがいについて教えてください。

現在、物品の購入や役務等の病院経営に関わる契約業務、固定資産の管理を担当しています。自分が携わったことが、病院全体にとってプラスになっていると感じられた時やりがいをとても感じられます。

前職の経験やスキルが活かした経験や場面について教えてください。

幅広い世代や職場外の方と接する機会が多い職種に従事していました。この経験を通じて得られた円滑に業務を進める力が、病院内外のさまざまな方と接する今の業務に必要な調整力の土台となっています。

国立病院機構を目指す方へ向けたメッセージをお願いします。

入職前は、自分に務まるか不安もありましたが、今では日々の業務で達成感と医療従事者の一人として責任感を持って業務をしている充実感があります。「地域医療を支えたい」という方、地域に必要なとされる病院づくりと一緒に造りましょう。



役職職員のターニングポイント、出向者へのインタビュー



令和6年昇任

弘前総合医療センター
経営企画室長

入社してから印象に残っている仕事を教えてください。

北海道東北グループで人事担当となり、事務職員やメディカル部門の採用募集に携わりました。当時採用となった新卒者が係長となり成長する姿を見ると、感慨深く、仕事のやりがいを感じております。

どのような後輩に入職して欲しいですか。理由と併せて教えてください。

仕事に限らず、様々なことに興味を持って取り組む姿勢を持った方に入職してもらえたらと思います。そうすることで視野も広がり、新たな人間関係が構築できて、経験したことが将来的に自分の力になります。

転勤(病院の異動)や配置換(他の課への異動)、昇任を経験した感想を教えてください。

転勤や配置換で新たな環境で業務に携わることになり、覚えることも多く大変な面もありますが、新たな発見や経験をすることができます。いい意味で気分転換にもなります。

管理職としてどのように業務に取り組んでいますか。(気を付けていることや心掛けていることなど)

部下や周りの職員の状況を見て、気づいたことを話しかけるようにしています。困っていることがあれば相談できるような雰囲気を作れたらと考えております。

所属している部署の説明をお願いします。(雰囲気等) また、職員とどのようにコミュニケーションを図っているか教えてください。

経営企画室は病院の経営に関する統計や経営改善策を検討する部門となります。事務だけではなく看護部やメディカル部門とも協力していく必要があり、わからないことを教えてもらいながら仕事を進めています。



これまでの仕事をふりかえって、**ターニングポイント**となった出来事、エピソードを3つ教えてください。

episode 01

係員のときに、病院からグループに異動となり、今まで自院のことしか考えたことがありませんでしたが、管内の病院の状況を広く知ることができ、病院によって様々なやり方で業務を進めていることを知りました。現在でも困った際には、管内の病院でどのようなやり方をしているか照会して、自院の業務改善に活かすことがあります。

episode 02

弘前総合医療センターは弘前市立病院とNHOが統合して令和4年に地域の中核病院として新たなスタートを歩み始めた病院です。そのような病院の経営企画室長となり、経営分析に対する経験がない中、行政機関や大学、医師会等が参加する委員会で経営状況を説明する立場となりました。事務部長を始めとした関係者に支えられて、委員会を無事進めることができました。

episode 03

弘前総合医療センターに異動した初年度に病院機能評価を受審することになりました。弘前市立病院と統合して3年目で、病院としての組織体制がようやく整った頃でした。各部門で定まっていたなかったルールや法律に即した規程作り、チーム医療の推進を進める必要があり、機能評価受審の事務局として奔走しました。各部門の協力を得て審査を受け、無事認定を受けることができました。



令和4年昇任

花巻病院
業務班長

入社してから印象に残っている仕事を教えてください。

仙台医療センターの病院移転業務に携われたことです。何度も経験することはない業務だと思いますが、多職種で協力し乗り越えた良い経験となりました。

どのような後輩に入職して欲しいですか。理由と併せて教えてください。

サービス業が得意な方は向いていると思います。事務のどの仕事も病院・職員・患者さんのためになります。やりがいを持って働ける環境ですので、是非一緒に働きましょう。

転勤(病院の異動)や配置換(他の課への異動)、昇任を経験した感想を教えてください。

仕事の面でも、生活の面でも、視野を広げる良い機会だと思います。他施設での経験が生かせることが多々ありますし、より多くの職員と関わるようになることが私にとってとてもプラスになっています。

所属している部署の説明をお願いします。(雰囲気等) また、職員とどのようにコミュニケーションを図っているか教えてください。

私は企画課業務班に所属しており、業務班では、契約、財務管理、経理、決算、医事などの業務を担当しています。チームとして各担当が相談しやすくなるよう、風通しの良い職場環境を心がけています。

今後のビジョンを教えてください。

未経験の業務もあるので、まずは知識を深めたい想いもありますが、将来的には役職・年齢に見合うよう、人間力を高めていきたいと思っています。



これまでの仕事をふりかえって、**ターニングポイント**となった出来事、エピソードを3つ教えてください。

episode 01

簿記の基本が理解できたときです。自分が起票した伝票の意味、財務諸表への影響を理解できたときに当時の仕事が面白くなりました。簿記を覚えたきっかけは、政府関係法人会計事務職員研修です。一か月半程度の長期研修でしたが、国立病院機構以外の組織の方々と話す機会も多く、とても良い経験となりました。当時経営企画係長でしたが、分析業務等実務に直結しました。今でも、あの時研修を受講して良かったと思える研修です。

episode 02

事務の仕事は多岐にわたり、私自身も未経験の業務は多々あります。ですが、複数の役職を経て、病院に必要な年間業務の把握であったり、各課の役割が一定程度繋がったときに、業務の幅がぐっと広がったことを実感しています。当時、自分がしていた仕事が違う係で繋がったりすると理解がより深まることもあり、事務だけではなく、多職種間の業務調整も段々でできるようになったと思います。

episode 03

管理職に昇任してから、管理職として相応しい行動かどうかを意識するようになりました。病院運営の一翼を担う立場となったからは、より自身の行動に責任を持たなければと思うようになりましたし、地位は人を作るという諺をなるほどと思った次第です。少し大げさに書きましたが、私はまだまだ未熟者です。皆さんの理想の先輩となれるように、これからも精進していきたいと思います。



出向職員 令和6年出向 国立病院機構本部 人材確保課主査

本部(東京)へ異動になった時のことを教えてください。(当時の状況や心境など)

北海道に勤務しているときにお話をいただき、これまでの転勤と違い、知り合いがほぼいない環境で業務内容も想像できなかったため不安も大きかったですが、組織全体のことを学べる貴重な機会だとも思いました。

現在の仕事とやりがいについて教えてください。

現在の業務は主に医師の人材確保がメインとなっており、各病院により状況が違う中で、どのような取り組みをしたらよいかなどを考えます。全病院に影響するため、プレッシャーが大きいですがその分達成感も大きいです。

本部の業務と病院の業務の違いについて教えてください。

本部業務は病院のように患者さんや医療職の方と直接接する機会はほとんどなく、自分のやっている

ことの実感を得ることは少ないですが、全病院に影響することも多く、責任の大きさを感じることがあります。

国立病院機構を目指す学生へ向けたメッセージをお願いします。

巨大なグループ組織となっておりますので、特色の違う病院や本部、グループなど様々な土地で、様々な経験を積むことができ、視野がとても広がります。色々な経験をしてみたい方は是非NHOへ。

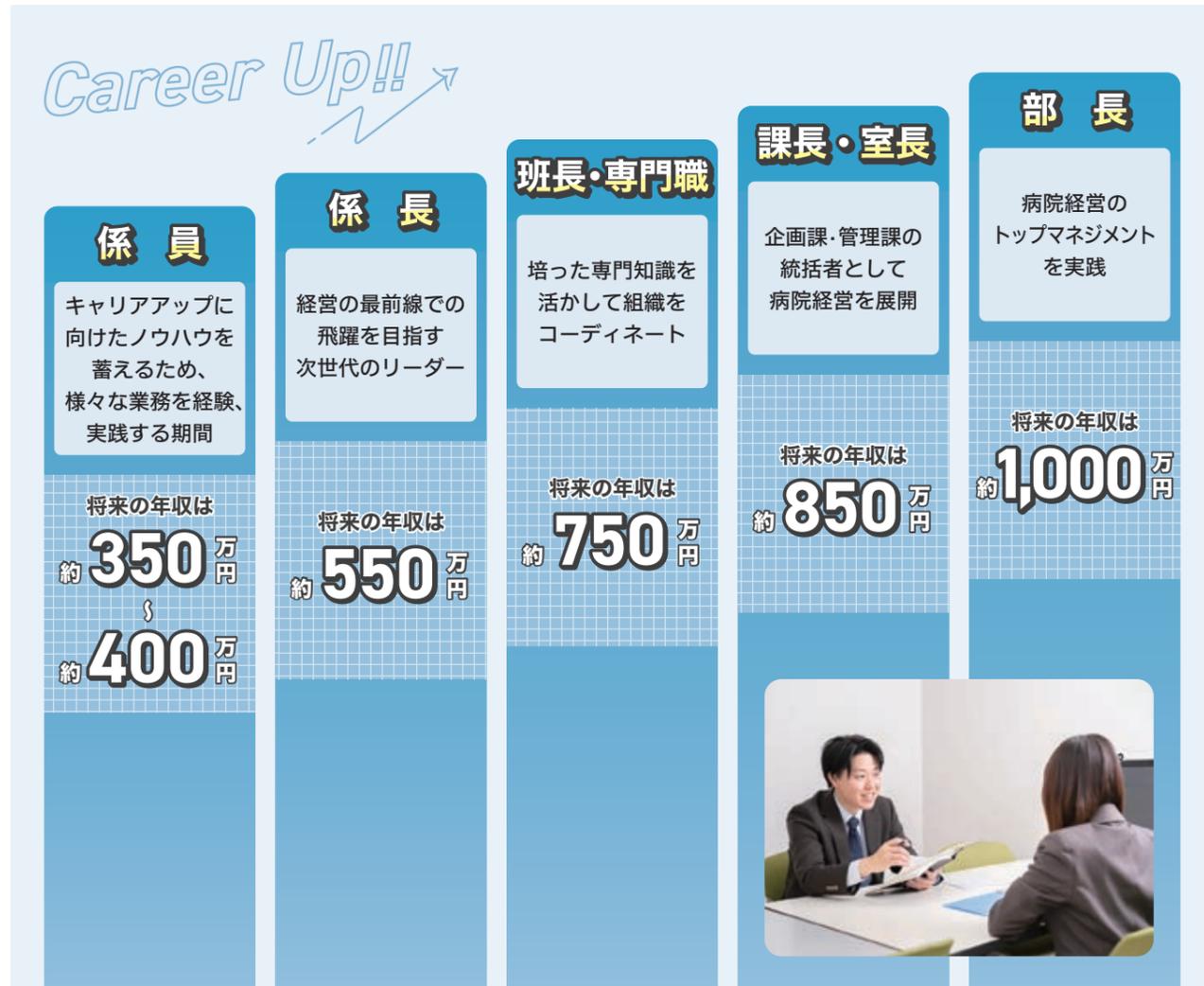


キャリアアップ・人事異動



可能性を伸ばすキャリアアップ制度

係員では様々な係で業務を経験し病院事務や調整力の基礎を身につけます。現在は概ね大学卒業後3年または専門学校卒業後5年で係長へ昇任するための選考試験を受けることができ、合格すると係長昇任候補者となります。係長へ昇任となった際は、様々な病院や業務を経験しスキルアップを図り、その後専門職、班長、課長、そして部長への昇任の途が開けます。



キャリア形成を支援する充実した研修体制

体系的な研修、職場内研修の活性化、業務経験、そして研究と発表により業務実践力の向上とキャリア形成を支援していきます。



キャリア開発の全体像

階層別研修		採用前研修
事務部長	事務部長研修	
課長・室長	新任課(室)長研修	
班長・専門職	新任職場長研修 ミドルマネジメント(中間管理者)研修	
係長	新任係長研修 ローマネジメント(監督者)研修	
係員	事務職員人材育成研修(Tact) 詳細は下記	

OJT 職場内研修
国立病院総合医学会

基礎研修プログラムのイメージ

採用から4年目までに「事務職の体系的な業務」や「キャリア形成に必要な基礎力」を身につけるために事務職員人材育成研修を実施します。

Tact1 1年目	Tact2 2年目	Tact3 3年目	Tact4 4年目
<ul style="list-style-type: none"> ● 病院業務の基本を習得 ● 国立病院機構の役割 ● 保険医療制度 ● ビジネスマナーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ● 標準的な業務に関する基礎知識の習得 ● 人事給与業務 ● 会計制度 ● 医療関連法規など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務実践力の向上 ● 標準的業務フロー ● 医療サービス ● 問題解決技法など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中堅職員としての基本的な知識と技術の習得 ● 病院経営 ● リーダーシップと部下の育成 ● コミュニケーション技法 ● クレーム対応

人材育成ビジョンについて

NHO事務部門の人材育成ビジョンは、地域医療を支える病院運営の要として活躍できる人材を計画的に育てていくことを目的としています。職員一人ひとりが誇りを持って成長できるよう、OJTを基盤に階層別研修や自己啓発を組み合わせた体系的な教育を整備し、知識・スキル・意識のバランスの取れた育成を推進しています。また、心理的安全性の高い職場づくりや働きやすい環境

の整備を重視し、安心して学び挑戦できる組織文化の形成を目指しています。さらに、ジョブローテーションや他法人・行政機関との人事交流を通じ、多様な経験を積みながらマネジメント力や専門性を高める機会も提供します。将来的には、病院運営・経営のスペシャリストとして、地域医療の質向上や医療政策への貢献を担う人材の育成を目指すビジョンです。

事務部門の一員として働く魅力

「魅力 01」 “医療を支える” という明確な社会的意義

- 直接医療行為は行わないものの、病院運営の中心を担う仕事で患者さんの治療環境を支える役割を持っています。
- 社会貢献度が高く、「人の役に立っている」と実感しやすい仕事です。

「魅力 02」 全国に140の病院を持つ“安定した組織”

- 独立行政法人として安定した基盤があります。
- 人事異動・配置換があるため、ノウハウや人材を共有できるネットワークによる強さを持っています。
- 医療需要がなくなりにくいセーフティネット分野を多く担当しています。

「魅力 03」 多様なキャリアパス

- 事務といっても業務は多岐にわたり、以下のように幅広い分野があります。

医事(診療報酬・レセプト) 経理・財務 人事・労務管理

総務・地域連携 DPC・データ分析 病院経営企画

様々な部署を経験しながらスキルを伸ばし、将来的には経営に携わるポジションへキャリアアップします。

「魅力 04」 若手でも責任ある仕事を任せられる

- 国立病院機構は比較的早い段階から実務に携われる文化があり、主体的に成長したい人には向いている職場です。
- 病院運営はスピード感が求められるため、日々手応えがあります。

「魅力 05」 多彩なキャリアアップ・人事異動制度

- 国立病院機構には、厚生労働省が管轄している地方厚生局などの外部機関への人事交流の機会があります。
- 厚生労働省などへ人事交流で出向く際には、国家公務員として勤務することになります。

「魅力 06」 公的医療機関ならではの安定した待遇

- 年次昇給があり給与制度が明確です。
- 福利厚生(住宅手当・扶養手当など)も充実しています。

「魅力 07」 国立病院総合医学会や病院祭などのイベント運営

- 国立病院総合医学会は年に1回、持ち回りでグループの代表病院が運営を行い、全国の国立病院から全ての職種が参加、日頃の成果や研究結果を報告しあう学会となっています。
- 病院祭などのイベントは各病院ごとで開催しており、季節に応じて様々なことを企画、運営しています。

事務職員の統計データ

- DATA -

平均勤続年数^{※1}
15.46年

3年以内の定着率

R4.4.1 採用者 23名
R5.4.1 在籍者 22名
R6.4.1 在籍者 20名
R7.4.1 在籍者 19名

3年後の定着率
82.6%



採用に関するデータ

採用数

令和2年度 令和3年度 令和4年度
19名 **24**名 **28**名
令和5年度 令和6年度
28名 **22**名



職層別男女比

	女性	男性
全体	40.9%	59.1%
役職者	20.6%	79.4%

職員数、採用数、平均年齢、中途採用の実績^{※2}

職員数 採用数 平均年齢
337名 **22**名 **38.6**歳

中途採用の実績^{※3}

14名 うち係長採用 **3**名



※1 R7.4.1時点、4/1採用者含まず、1年未満は0年で計算

※2 北海道東北 R7.4.1時点

※3 R6.7.1~R7.4.1



よくある質問

Q & A



Q 事務職として必要な資質は？

A 1. マルチタスクと優先順位判断

- 複数のタスクを並行して行う力
- 締め切りや緊急度を考えて、効率的に段取りをつけられる力

2. 柔軟性・サポート精神

- 「裏方」としてチームや他部署を支える力
- 突発的な依頼にも前向きに対応できる姿勢

3. チームワークとコミュニケーション能力

- 多職種と協力しながら主体的に行動し、課題を発見・解決していく力

4. 継続して学ぶ姿勢

- どんなことにも興味を持ち、面白がれる力
- 事務職は配置換や転勤となることで業務内容も変わり、新しいことに挑戦する機会が多いため、無知を楽しみ周りに相談する姿勢



Q 入職前に必要な資格はありますか？

A 特にはありませんが、医療に関するニュースや情報に関心をもっていただければよいと思います。また、採用後デスクワークではExcelやWord等を使用することが多いので、自信がない場合には少し慣れておくご自身の役に立つと思います。

Q 転勤のサイクルは？

A 概ね、3～4年ごとになります。様々な業務を経験することで病院経営を支えるジェネラリストを目指します。

Q 配属先・転勤先について、病院の希望は聞いてもらえますか？

A 配属先は、面接の中で確認させていただく内容と内定後に行う希望勤務地のアンケートを踏まえて決定いたします。

転勤先は、全職員が毎年、配置換等についての希望事項や健康職業教育等の事項で問題となるべき事項などについて記載したものを提出する機会があり、その内容をもとに調整をおこなっております。

ただし、勤務地の決定は各病院の配置状況等も勘案して行うため、必ずしも希望どおりの勤務地に配属されるとは限りません。



グループ病院 一覧

全国で140病院を運営する国内最大級の医療ネットワークを誇っています。

全国を6つのグループに区分して運営しており、北海道東北グループは1道6県に20病院を展開しています。

1	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 〒003-0804 北海道札幌市白石区菊水 4 条 2 丁目 3-54 https://hokkaido-cc.hosp.go.jp/	13	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 11-12 https://nsmc.hosp.go.jp/
2	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター 〒063-0005 北海道札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1-1 https://hokkaido-mc.hosp.go.jp/	14	独立行政法人国立病院機構 仙台西多賀病院 〒982-8555 宮城県仙台市太白区鉤取本町 2 丁目 11-11 https://sendainishitaga.hosp.go.jp/
3	独立行政法人国立病院機構 函館医療センター 〒041-8512 北海道函館市川原町 18-16 https://hnh-hosp.jp/	15	独立行政法人国立病院機構 宮城病院 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原 100 https://miyagi.hosp.go.jp/
4	独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター 〒070-8644 北海道旭川市花咲町 7 丁目 4048 https://asahikawa.hosp.go.jp/	16	独立行政法人国立病院機構 あきた病院 〒018-1393 秋田県由利本荘市岩城内瀬川字井戸ノ沢 84-40 https://akita.hosp.go.jp/
5	独立行政法人国立病院機構 帯広病院 〒080-8518 北海道帯広市西 18 条北 2-16 https://www.obihiro-hosp.org/	17	独立行政法人国立病院機構 山形病院 〒990-0876 山形県山形市行才 126-2 https://yamagata.hosp.go.jp/
6	独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター 〒036-8545 青森県弘前市大字富野町 1 https://hirosaki.hosp.go.jp/	18	独立行政法人国立病院機構 米沢病院 〒992-1202 山形県米沢市大字三沢 26100-1 https://yonezawa.hosp.go.jp/
7	独立行政法人国立病院機構 八戸病院 〒031-0003 青森県八戸市吹上 3 丁目 13-1 https://hachinohe.hosp.go.jp/	19	独立行政法人国立病院機構 福島病院 〒962-8507 福島県須賀川市戸田塚 13 https://fukushima.hosp.go.jp/
8	独立行政法人国立病院機構 青森病院 〒038-1331 青森県青森市海蔵大字女鹿沢字平野 155-1 https://aomori.hosp.go.jp/	20	独立行政法人国立病院機構 いわき病院 〒971-8126 福島県いわき市小浜野田字八合 88 番地の 1 https://iwaki.hosp.go.jp/
9	独立行政法人国立病院機構 盛岡医療センター 〒020-0133 岩手県盛岡市青山 1 丁目 25-1 https://morioka.hosp.go.jp/		
10	独立行政法人国立病院機構 花巻病院 〒025-0033 岩手県花巻市諏訪 500 https://hanamaki.hosp.go.jp/		
11	独立行政法人国立病院機構 岩手病院 〒021-0056 岩手県一関市山目字泥田山下 48 https://iwate.hosp.go.jp/		
12	独立行政法人国立病院機構 釜石病院 〒026-0053 岩手県釜石市定内町 4 丁目 7-1 https://kamaishi.hosp.go.jp/		



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization
北海道東北グループ

国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は
国民一人ひとりの健康と
我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、
健全な経営のもとに患者の目線に立って
懇切丁寧に医療を提供し
質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

資料のご請求・お問い合わせ先

独立行政法人 国立病院機構
北海道東北グループ 人事担当人事係

〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野2丁目8番8号

TEL **022-291-0439**

URL <https://hokuto.hosp.go.jp/>

E-mail 711-kita-jinjakakari@mail.hosp.go.jp